

(別紙4(2))

事業所名 グループホームふれあい

## 目標達成計画

作成日: 平成 30年 10月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	歩行困難な方や、歩行器や車椅子を利用している方が増えたことで、団体での外出が困難になり、頻度が落ちている点	外出することで、気分転換になったり、楽しい生活になったりと、QOLの向上に繋がります	歩行器や車椅子でも行きやすい場所や、少人数で行けるよう回数を分けることで、外出先を企画しやすいようにします	12ヶ月
2	26	介護計画の内容について、職員全体が把握できているかが分からない点	介護の方向性を説明し、認識を共有することで、サービスの統一を図り、ケアの質を向上させます	新しく介護計画を作成した段階で、作成者から口頭で各職員へ説明します。又、定期的にサービス内容の状況確認をする事で意識付けを行ないます	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。